

リップ

カブリッヰ

有賀美雪の

楽屋育ちのひとりごと 13

心を裸にするために、

初めてお話しします。

私の生い立ち。

プレイマガジン読者の皆様、明けましておめでとうございます。有賀美雪です。昨年は本当にお世話になりました。皆様方のご厚情を心身で感じることができました。そんな方々のためにも、今年はより人間らしく心までが裸になれるようなステージをめざして頑張ります。だから、話してもいいかな？ 私の心を裸にして、みなさんとの仲をもっともっと深めるために。私が生まれたときからのことを。



さんとまあちゃん(私のことです)を捨てていった悪いヤツ」と母から聞かされていた父は、私が16のときに死んだそうです。ヤクザ者でギャンブル好きで女好きという最悪の人間だったようです。

おてんばだった私は、死んだ祖母から「この子はクビでも吊って死んでくれればいいんだ」と言われていたのを覚えています。母は私を育てるために、ストリップの世界に入りました。でもそこからです。私の人生が厳しくなっていくたのは。

楽屋で育った私は、母のステージ中、他の踊り子さんからいびられたり泣かされたりした。でも母にはそんなことは言えない。言ったところでまたやられるのは目に見えてるし、また母が喧嘩するのも見たくはなかった。でも、ステージの袖から見る母は本当にきれいだった。母は私の太陽でした。

母は人目を引くショーで、どこへ



行っても大物扱いされた。でも敵は多かった。相手が男でも向かっていく母を私は本当に頼もしいと思った。でもやっぱり女性なんですね。何人もの男が母と付き合った。私はその男たちからいじめられた。宝物の人形の首を折られたこともある。そんな男でも別れずに生活してきた母が、信じられなかったなあ。

学校へ行く頃、おばさんの家に預けられた。そこでも私はいじめられた。でも、向かっていくことも、逃げることも許されない。ただ受け止めるだけ。それも精いっぱいだった。そんなとき、母は旅回りをやめ、長年の夢だった劇場を持つことができた。今まで頑張ってきた良かったと思いきや、良いことは長くは続かない。母の劇場は警察に摘発され、母は懲役3年8ヵ月。私はまた親戚の家をたらい回しにされたあげく、2DKのマンションで愛人をやっているおばちゃんの家にとどろついた。その頃私は中学生。私がどれだけ邪魔者かわかっていた。でも愛人と



生きてる人に母親役までしてもらって感謝しています。

そのおばちゃんのお口癖は「人間がわづらわしい。めんどうだ」でした。その言葉には愛がありました。おばも私と同様、小さな存在なんですね。でも、小さな虫だって群をなすことにより自分より数倍も大きなものを運ぶことができるでしょ。人のつながりも似ています。だから私、人に嫌なことをされても、人って好きです。嫌いにはなれません。人といっしょにいるのが、寂しくなくていいし、だますよりもだまされた方がいい。環境ですごく大切に人間を変えてくれるけど、素直な心はどんな世界にいても見いだせます。こんな私にだって気づくことができるんだもん。さあ、みなさんも今年是有賀といっしょに、心のストリップをどうかしら？ じめじめした話はもうおしまい。正月と言うことで、パァッと盛り上がりませんか。私にお年玉をぜひ、というア・ナ・タ。うふふ、待ってるぞお！

今月のプログラム

	1月11日～20日	1月21日～31日	2月1日～10日
名古屋銀映	高崎慶子 高倉さめ 藤田くるみ	和泉美奈 泉美奈 絵岡春	花南 ちあき 真央
岡崎銀映	和泉りな 東千寿	吉川まゆ 織絵麻里奈	仲山みゆき
鶴舞劇場	テレホン案内放送中… ☎ (052) 882-2784		
岐阜まさご座	風魔早 麗子	愛美 愛	小島美紀
	乙姫くも 沢口とみ		未定